



## ミラノより 渥美充代ニュースレター

日本人と韓国人の有志でささげた賛美  
Goodness of God (上)

2月からサバティカル休暇に入られる内村伸之牧師・まり子さんご夫妻  
礼拝で祝福の賛美をささげ皆で祈りました(下)

## Goodness of God

みなさま、お元気でいらっしゃいますか。

いつもイタリア・ヨーロッパの宣教を覚えお祈りくださり、ご支援くださり心より感謝いたします。

去年はニュースレターの更新が滞ってしまい、申し訳ありませんでした。今年からまたコンスタントに続けていきたいと思ひます。

2024年は元旦から能登半島の地震、また羽田空港で起こった事故と、日本から届いたニュースに大変驚きました。主にあわれみを求め日本のために祈らずにはいられない年明けとなりました。



昨年クリスマスにトリノで行われた  
絵画から紐解くクリスマス



5週目の日曜日はミラノの会堂  
でもメッセージを担当します



ピアチェンツァは毎月3週目の日曜日を  
担当しています

ヨーロッパでもロシアによるウクライナへの侵攻は始まってから700日がたち、去年の10月からはイスラエルとハマスとの戦闘が始まってしまいました。私たちは時に、なぜこんなことが起こるのか？祈っているのになぜ？と心痛み思い悩むことがあります。先日、主任牧師のキム・サンウォン先生がヨブ記から「義人が受ける苦難」と題して非常に難しく重要なテーマについて語っていただきました。ヨブが受けた苦難も、因果応報のような原因に応じての結果ではなく、なぜこんなことが自分の身に起こるのか、理由がわからない、説明ができないものでした。それでもヨブは神様から離れず、想像を絶する苦難の中でも主を見上げたのです。理由がわからないことは辛いですが、それでも神様に話し続けること、祈ることをヨブはやめませんでした。神様は結局ヨブの苦難の理由を明らかにされることはありませんでしたが、ヨブをさらに豊かに祝福されました。苦難があっても神様に繋がりに続けられることこそ私たちに与えられている主の恵みです。Goodness of Godの日本語歌詞には「あなたは善い方/いつも誠実な主/いのちある限り/素晴らしい主を賛美する」とありました。これが私たちの真の告白となるように祈ります。

去年2023年はサバティカルイヤーで3ヶ月お休みをいただき、日本で人間ドックやカウンセリングを受ける貴重な時間をいただきました。心身ともに健やかで神様に仕えていくためにしばし立ち止まり、静まることができました。送り出してくださいました教会の皆さんといつも共にいてくださった主に感謝をささげます。

みなさまの日々に主の祝福が豊かにありますように。

💡いつもお祈りに覚えてくださり、あたたかいご支援を続けてくださり本当にありがとうございます。支える会の口座が新しくなっております。☞  
下記のように礼拝名とお名前のご記入にご協力いただき、ありがとうございます！

1:第1礼拝 2:第2礼拝 3:第3礼拝 0:その他  
(例)2 サイトウ ユウジン

新口座：↓  
三菱UFJ銀行 仙川支店(149)  
普通預金 0803314  
渥美充代さんを支える会  
代表者 齋藤祐仁